



出口町 防災 マニュアル

保存版

地震から身を守るために!

地震発生

各班一時退避場所
防災マップで事前確認

地震がおさまったら

自宅避難

地震警報

- ① まずは身の安全を確保
窓や家具・食器棚のそばから離れる
- ② 避難口の確保
戸・窓を開ける。慌てて外に出ない
- ③ 火の始末
ガス・石油ストーブなど。ブレーカーを落とすこと

震度5弱以上の地震発生で
出口町自主防災本部を
出口町防災倉庫前に設置

- ④ 安否確認
安否確認カード・タオルなど外から見えるところに掲げる
- ⑤ 各班一時避難場所に集まり、
ご近所の安全を確認
近所で声を掛け合い救出・初期活動
防災本部に報告・救助要請

大規模火災発生

ただちに避難

広域避難場所
茅ヶ崎高校へ
防災マップで事前確認

火災の危険がないことが確認できたら

松浪小学校 避難所

大津波警報

ただちに避難

大津波
避難場所



防災マップで
事前確認

警戒解除

自宅避難

目指せ！災害に強いまち「**出口町**」

～「自助は最大の共助」一人一人の備えが、大きな力に～

地震から命を守る大切なポイント

自分が無事なら、隣近所で助け合い

地震が起きてからじゃ遅いぞ！
思い立ったが吉日！



やる気になったら、即実行！今日から我が家も地震対策！

家屋倒壊



過去の震災の教訓

阪神淡路大震災の圧死者の **9割が即死**
事前の備えで生死の明暗が分かれていた

昭和56年6月以前は旧耐震基準！震度7で**全壊する確率が90%！**
備え① 今すぐ耐震診断を！（詳しくは市役所建築指導課まで）

家具転倒

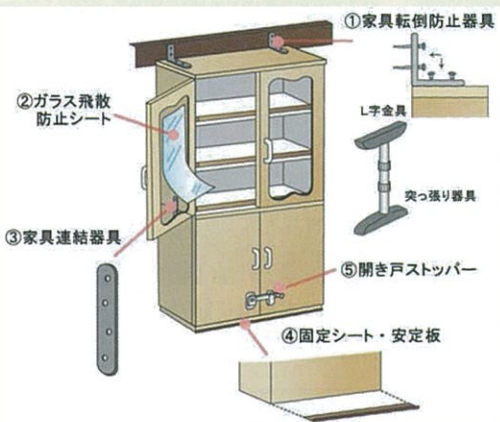


過去の震災の教訓

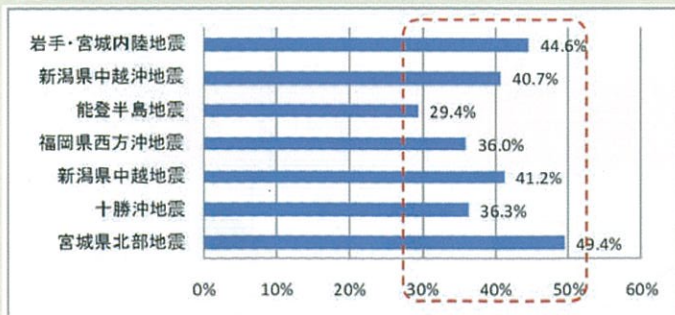
震災時の負傷の原因のほとんどは、**家具転倒・ガラス飛散**

事前に各家庭でしっかり**家具固定等を実施**すれば、**負傷者大幅減！**

備え② 寝室・リビングを中心に**家具固定・ガラス飛散防止フィルム**



《家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合》



30～50%の人が、家具類で負傷

自宅を安全な環境にすることが生き残るためのスタートライン！

火災



出口町に想定される被害

出口町は、10000棟以上が延焼するクラスター内に位置する木造密集地域
延焼の危険性が高く、**大規模火災の危険性**がある！

大規模火災も**最初は小さい1件の火災**
延焼の危険性が高いため、**一人一人が火災にしっかり備えましょう！**
出火防止と初期消火に取り組めば、火災のリスクは**大きく減ります！**

備え③

地震火災の心得3箇条



予防

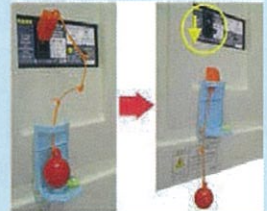
火災は起こさない



地震火災の原因の6割は「電気」



揺れが収まったら**ブレーカー**を落とす



消火

火災はすぐ消す



天井に火が届く前に
消火器で初期消火！



隣の家に
延焼する前に放水！

最寄りの消火器を確認

最寄りの移動式ホース格納庫を確認

避難

火災の熱から逃げる



火災が延焼したら、**広い場所に逃げる**



広域避難場所『**茅ヶ崎高校**』

逃げるタイミングは**火を見ず早めの避難！**



避難生活は『自宅』が基本

～在宅避難と7日間の備蓄のススメ～

非常備蓄必須4点セット

水+食料+ガス+トイレ (便袋)



飲料水として1人1日1ℓの水が必要
調理用に使用する水も含めると3リットル
程度あれば安心です。3ℓ×7日=21ℓ



熱源は、食糧を温めたり
簡単な調理に必要です。
ボンベも忘れずに！



2kgの米袋+水+熱源があれば、約27
食分になります。(1食=0.5合=75g)
缶詰は、調理不要なものを選ぶと便利



震災時は、水を使わない
便袋を活用。災害時は便袋を
燃えるゴミで出せます。

長期備蓄の秘密アイテム『めし袋』

炊飯器を使わない米の炊き



お米とお水を袋に詰め、20分間沸騰させ
ただでご飯が炊き上がります。980円





チェック
しましょう!

非常用持ち出し品

避難する時にまずは持ち出すべきものです。
非常用持ち出し袋に入れ、玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

貴重品

- 現金 (公衆電話用に10円玉)
- 通帳・印鑑
- 身分証明書 (保険証、運転免許証)



生活用品

- 雨具
- 簡易トイレ
- 厚手の手袋
- ティッシュ (ウエットティッシュも)
- ライター (マッチ、ろうそく)

避難用具

- 懐中電灯
- 予備の電池
- 携帯ラジオ
- 携帯電話 (充電器も)
- ヘルメット
- 靴
- 救急セット
- ホイッスル

非常食

- 調理不要な乾パン等
- 缶詰
- 水 (1人 1リットル)

その他

- 持病の薬
-
-
-

チェック
しましょう!

備蓄品

避難生活は在宅避難が基本! ライフライン (ガス・水道・電気) が使えないことを想定して、約1週間分の備蓄が必要。

食料

- お米 (1食は0.5合/2kgで約27食分)
- レトルト食品 (ごはん、おかゆなど)
- インスタント (ラーメン、うどん、味噌汁)
- 飲料水 (1人 1日 1リットル×7日分)



生活用品

- 生活用水 (給水用ポリタンク)
- カセットコンロ (予備ボンベ6~12本)
- 食器一式 (紙皿、紙コップ、割り箸)
- 簡易トイレ (断水時に使用する便袋)

その他

-
-



安否の連絡と確認のための

災害用伝言ダイヤル (NTT)

録音

メッセージ
を入りたい

171→1→

連絡を取りたい人
の番号を入れる

→1#→

メッセージ
を入れる
(30秒以内)

→9#

再生

メッセージ
を聞きたい

171→2→

連絡を取りたい人
の番号を入れる

→1#→

メッセージ
を聞く

話し合い

災害は予測を上回る可能性があるため、第2、第3の退避・避難場所についても各家庭で話し合っておきましょう。

避難場所
の確認

① 連絡方法

② 集合場所

③ 避難場所までの安全な経路など

